

道総研水産研究本部が新たに取り組む研究課題

道総研水産研究本部の各水産試験場において、令和8年度から新たに取り組む主な研究課題は表のとおりです。継続中の課題を含む研究課題の一覧は、水産研究本部の概要ページ (<https://www.hro.or.jp/fisheries/outline/kadai.html>) に掲載しています。

表 令和8年度 主な新規研究課題（令和8年4月1日現在）

研究制度	課題名	実施年度	実施機関
重点研究	海洋環境変動に伴うホタテガイ採苗数変動の理解と採苗技術改良に関する研究	R8-10	中央・函館・網走・稚内・栽培
	原料鮮度管理の導入による次世代型冷凍すり身製造のための指針策定	R8-10	中央・釧路・網走
経常研究	道北系群ホッケの年級群強度決定機構の解明	R8-10	中央・函館・釧路・稚内
	資源管理・増大方策の検討に向けた道産エソアワビの基盤的研究	R8-10	中央・函館・栽培
	キタムラサキウニ稚仔加入に対する高水温の影響把握	R8-10	中央
	道東固有種コンブ類の増養殖に向けた生理生態解明	R8-10	中央
	ウニ稚仔加入量のモニタリング手法の改善案検討	R8-12	稚内
	道産サケの資源変動要因の探索	R8-12	さけます内
	釧路川におけるサケの移殖放流手法の検討と効果の評価	R8-11	さけます内
	日長制御によるサクラマス成熟時期調整技術の開発および生産種苗の有用性評価	R8-11	栽培・さけます内
	サクラマスにおける高水温耐性個体の選抜条件と選抜効果の評価	R8-11	さけます内・栽培
	海水移行ストレスとIHN発症の関係性解明および飼料塩給餌によるストレス低減効果の検証	R8-10	さけます内
	成型ブレンド魚節の加工技術開発	R8-10	網走
	道産ツブ類の原料特性把握とツブ加工品の物性改善技術の開発	R8-10	釧路
職員研究 奨励事業	コンブ養殖における“ブルーカーボンの長期隔離能”を評価する試み	R8	中央
	海草の「海の穀物」としての利用に向けた基礎研究	R8	中央
	貝殻炭素安定同位体比を代謝指標としたホタテガイ稚貝の養殖条件下における高水温影響評価	R8	函館
	海の厄介者を麴に！-低・未利用海藻を用いた海藻麴の作製および特性評価-	R8	釧路
	ホタテガイ浮遊幼生期における貝殻輪紋形成の日周期性検証	R8	網走
	船舶偏流による海流観測手法を北海道周辺海域で活用するための基礎解析	R8	網走
	道産マフグを活用した即席麴加工技術の開発	R8	網走
	温暖化に伴うサケ捕獲河川水温と飼育用水源水温の将来予測	R8	さけます内
	高水温耐性サクラマスの育種開発に向けた遺伝子領域の探索	R8	さけます内
	マガキ疾病の早期診断技術開発の試み	R8	さけます内
	エネルギー量を指標としたサケ幼稚魚の栄養状態の絶対的評価手法確立	R8	さけます内
	サケの環境適応を支える遺伝的基盤の解明	R8	さけます内
	耳石薄片法を用いた北海道日本海産マダラの年齢査定	R8	稚内

(2026年4月10日 担当：北海道立総合研究機構水産研究本部企画調整部)

本著作物の著作権は道総研に帰属します。